

発掘調査現地説明会資料 岡山市教育委員会

日時 平成19年5月12日(土)13:30~

場所 岡山市蕃山町6-10(中央中学校内)

1. はじめに

岡山市教育委員会では、平成18年11月から体育館建設に伴う発掘調査を実施しています。このたび、旧岡山藩藩学に関連すると推定される遺構群がみつかりましたので公開いたします。

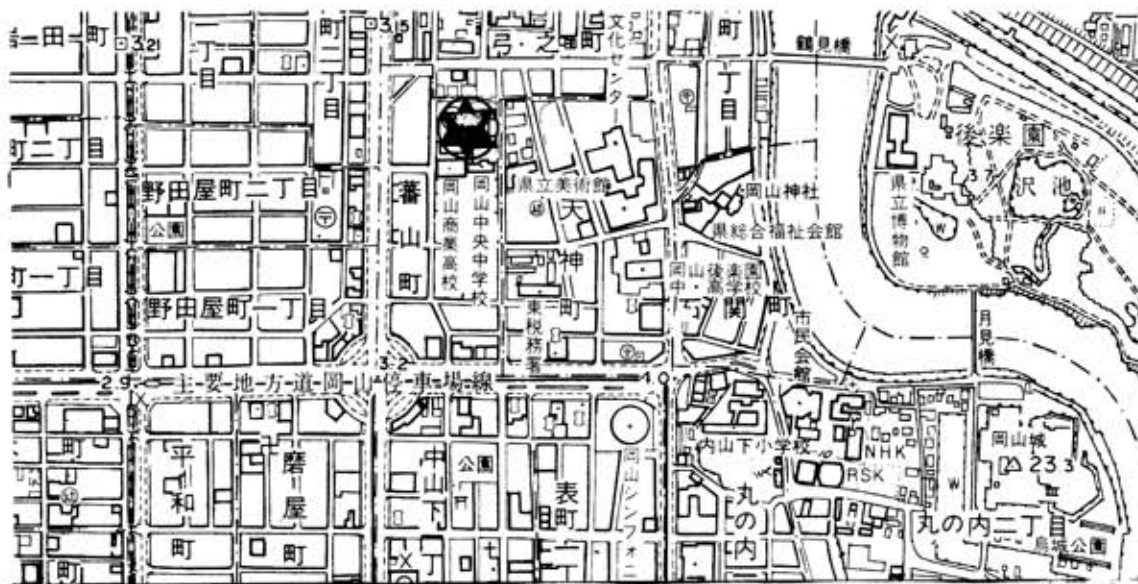
旧岡山藩藩学は、寛文8年(1668)に岡山藩三代藩主池田光政によって建設され、翌文9年(1669)に経営が開始された子弟教育の学校でした。全国に先駆けた創設と開学当初より身分制限がなかったことから、熊沢蕃山から強い影響を受けた光政の儒教を基礎にした熱烈な教化体制がわかります。

2. 遺跡の概要

発掘調査地点は、岡山城三之外曲輪跡内にあり、旧岡山藩藩学跡地に近接しています。市街化の影響もあり、弥生時代以前の様子は明確ではありません。平成16年度の調査では、古墳時代前期から近代の遺構が検出されましたが藩学に関連するものは未検出でした。今回の調査では現時点で近代・藩学時代・藩学以前の各遺構を検出しています。

3. 調査の概要

【近代】岡山県師範学校・岡山県女子師範学校の建物基礎、池跡、溝、土坑、ゴミ穴、厠等がみつかりました。また、文房具や女子師範学校の食器等が出土しました。

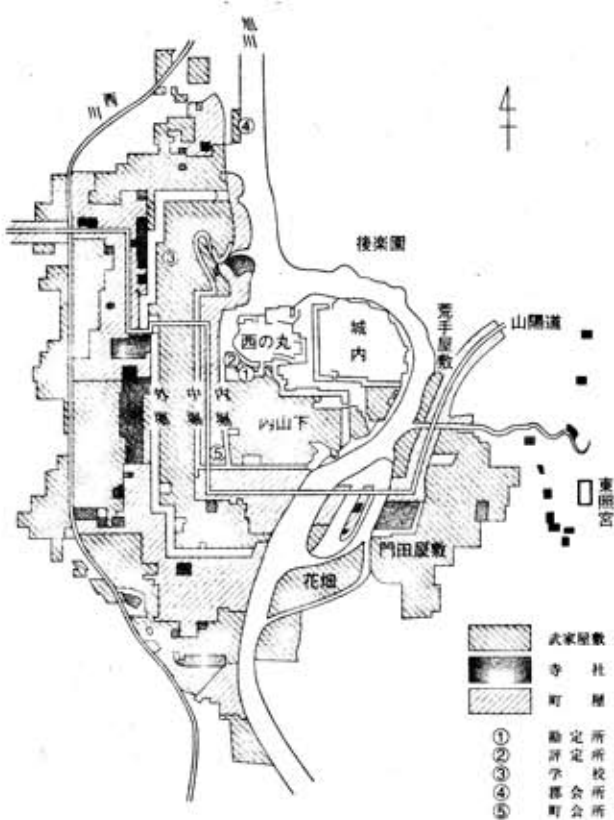


第1図 調査位置図 (S=1/10,000)

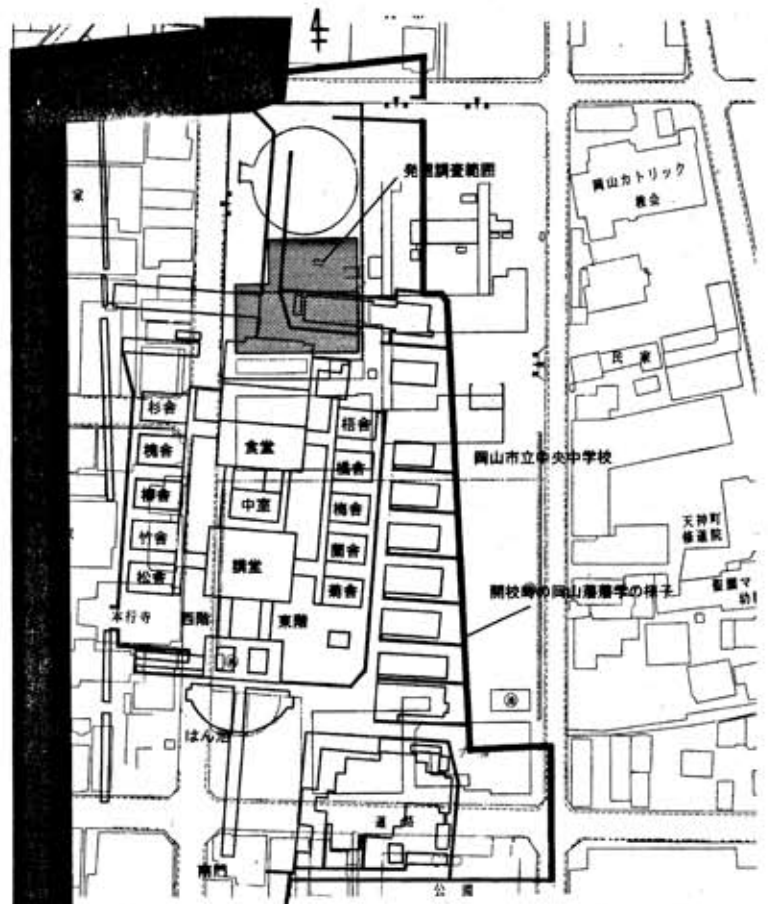
【藩学時代】建物跡、通路跡、土坑、土堀跡、井戸、ゴミ穴等の遺構がみつかりました。

また、文房具、日常雑器、漆器、木製品、金属製品、土製品等が出土しました。特に重要な遺構は藩学と直接関連する建物跡、通路跡、土堀跡です。この遺構は、岡山市史等に掲載された藩学絵図の建物配置図と一致するものです。現存する泮池以外では初めて関連遺構が確認されたこととなります。

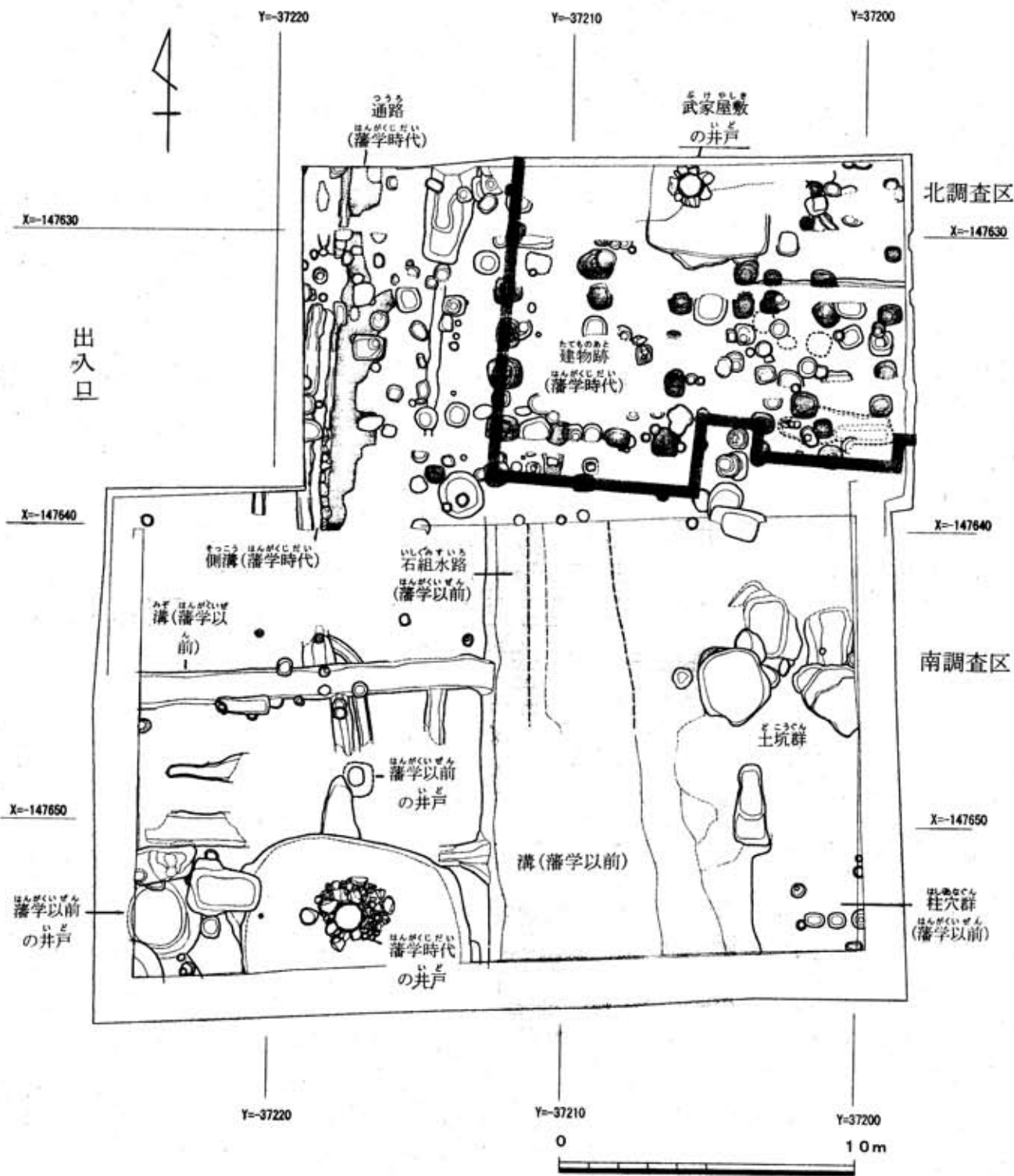
【藩学以前】武家屋敷や寺院がありました。遺構として溝、水路、井戸等が見つかりました。南北に走る最初の溝を埋めて石組水路を建設し、そこから素掘りの溝を西に付け外堀に繋いだものと考えられます。溝からは、たくさんの日常雑器、漆器、木製品、伊万里焼・唐津焼等や輸入陶磁器、金属製品、アカニシ・アワビ等の貝、真鯛・犬・鳥の骨等も出土しています。岡山城下町誕生を知る上で重要な資料です。



第2図 岡山城下町図（岡山県史近世Iより）



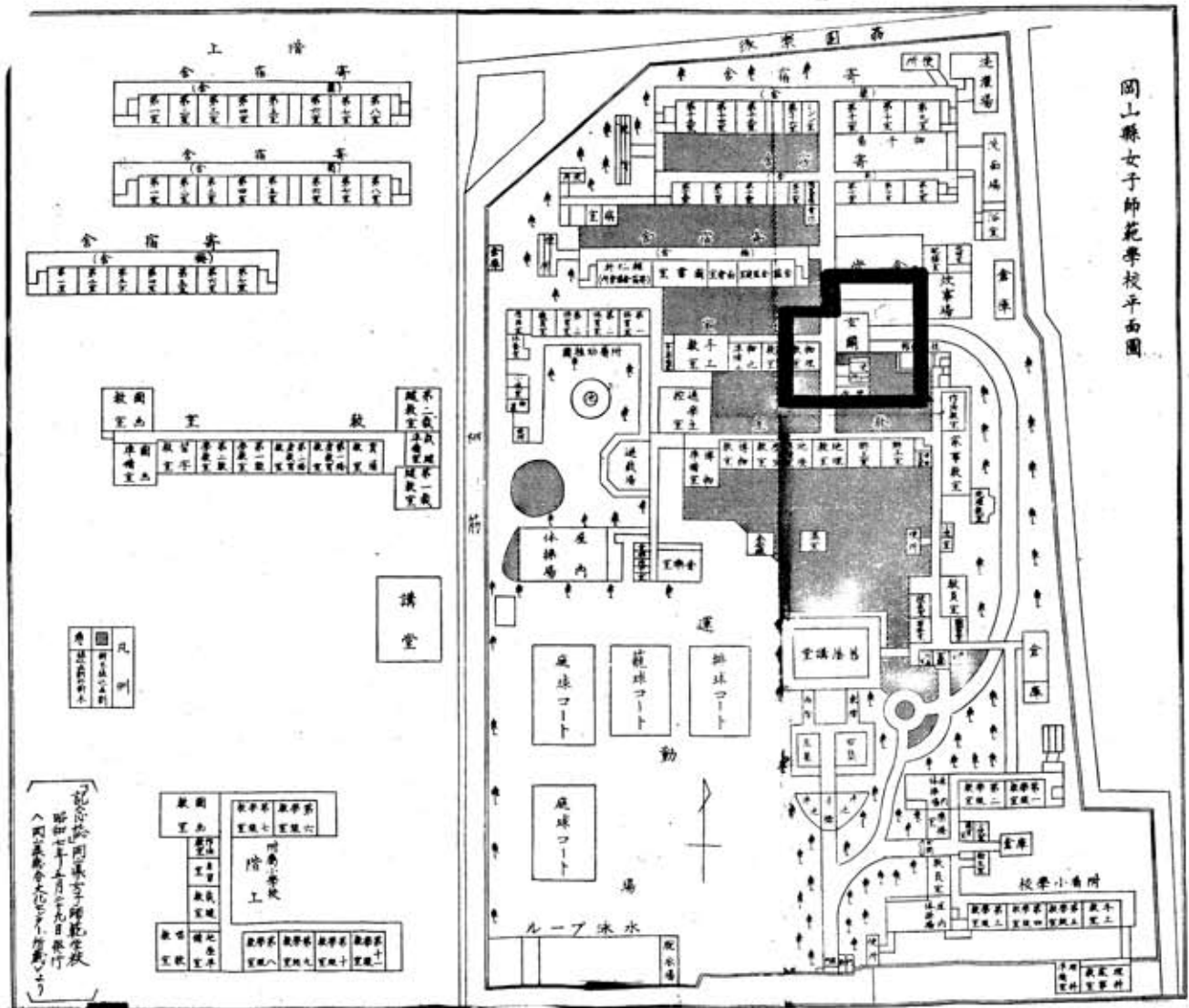
第3図 旧岡山藩藩学推定地と調査区



第4図 遺構平面図 (S=1/200)

第1表 旧岡山藩藩学跡地の変遷

和暦	西暦	出来事
寛永9年	1632	岡山古図(赤:家下屋敷上、植木権太夫)
慶安年間	1643~1651	岡山城下之図(円乗院と土屋敷)
寛文9年	1669	岡山藩藩学経営始まる
宝永5年	1708	学校地、池田主膳殿御屋敷と土屋敷
文久3年	1863	備前岡山地理家宅一枚図(学校地、土屋敷)
明治元年	1867	明治維新
明治5年	1872	藩学廃止
明治9年	1876	岡山県師範学校(備後福山師範学校と合併)
明治44年	1911	岡山県女子師範学校
昭和11年	1936	第二岡山高等女学校(岡山県女子師範学校に併設)
昭和18年	1943	岡山師範学校女子部
昭和20年	1945	6月岡山大空襲
昭和22年	1947	4月岡山市立第二中学校
昭和23年	1948	9月旭中学校
平成11年	1999	4月中央中学校(岡山市立旭中学校と丸之内中学校が統合)



第5図 岡山県女子師範学校平面図